

令和3年度
お茶の水女子大学論
ロールモデル講演集

リーダーシップ養成の実践のために

「お茶の水女子大学論」は、キャリアデザインプログラムの基幹科目の1つで、主に1年生を対象としています。新型コロナウイルス流行の影響で、すべてオンラインでの開催となりましたが、1-4年生合わせて210人の学生が受講しました。

この授業は、お茶の水女子大学の特色を知り、自らの将来をイメージしながら学生が在学期間を有意義に過ごすための導入的講座で、4つの要素(※1)から成り立っています。本講座では、学部生がお茶の水女子大学の歴史と現在を学ぶことを通して、本学の教育カリキュラムを自律的に選択し、授業を有効に活用し、社会のさまざまな場面でリーダーシップを発揮する人間として成長することを目指しています。

本冊子は、その一環として行われた、卒業生によるロールモデル講演の内容をまとめたものです。6回のうち掲載許可をいただいた講演録を掲載しています。

第1回(6/9)は相川千尋氏、第2回(6/16)は三角真理氏、第3回(6/23)は井本綾子氏、第5回(7/7)は栗林聡子氏、第6回(7/14)は山崎祐子氏にご担当いただきました。講師から学生時代の過ごし方を含めたご自身のキャリアパスや、現在の仕事内容やそれに関する専門的な理論などをご紹介いただき、職場での体験・経験などを通じて得たこと、学生へのメッセージなどについてお話しいただきました。また、学生からの質問や感想に対し、授業後に文章でご回答いただきました。ご登壇いただいた皆様にはこの場を借りて改めて御礼申し上げます。

グローバルリーダーシップ研究所

(※1)

1. 学長によるオリエンテーション
2. お茶大の歴史、お茶大生の特徴、学内の各種プログラムを知る
3. 本学卒業生のロールモデルから学ぶ
4. 企業や起業について学ぶ

目次

相川 千尋氏 (フリーランス翻訳 編集者)	文教育学部 人文科学科 卒 歴史文化学コース修了	2
三角 真理氏 (毎日新聞社 記者)	(旧)家政学部 家庭経営学科 卒	4
井本 綾子氏 (三菱スペース・ソフトウェア株式会社 エンジニア)	理学部 物理学科 卒	7
栗林 聡子氏 (横浜市立中学校 家庭科教員)	生活科学部 (旧)生活環境学科 卒	9
山崎 祐子氏 (観光庁観光地域振興課 地域競争力強化推進官)	文教育学部 (旧)外国文学科 卒	11
受講生の感想(一部抜粋)		14

「フランス語・翻訳・フェミニズム —自分の興味と得意を活かして働く！」

相川 千尋氏(フリーランス翻訳 編集者)

1. 自己紹介

歴史文化学コース修了後に、三省堂辞書出版部で仏和辞典編纂を担当し、在日フランス大使館貿易投資庁(広報担当)、同大使館広報部(SNS担当)勤務を経て、現在はフリーランスという形態で、フランス語の翻訳や編集の仕事をしています。フリーランスは人それぞれ状況が違い、情報を得ることが難しい働き方でもあるので、今日は少し私の場合をお話したいと思います。

2. 学生時代

天野知香先生の下で、フェミニズムの視点から見た美術史について学びました。フェミニズムについては、後で詳しくお話しますが、いわゆる「傑作」と言われる有名な作品も批判的に分析できることに驚きました。普遍的な価値のあるものだと思われている芸術作品も、ある特定の社会状況の中でつくられているのだということが、特にフェミニズムの視点を持って考えるととても良くわかりました。とてもおもしろいので、興味のある人は一度授業を取ってみてください。また、学生時代はフランス語に興味を持ち、仕事にしたいと考えるようになりました。

3. フランス語の勉強方法

私は帰国子女でもなく、長期留学もしていませんが、フランス語を仕事にすることができました。皆さんもあきらめる必要はないことをお伝えしたいと思います。まず、初級～中級においては、授業の予習・復習を完璧にし、発音練習を行い、暗記をおろそかにしないことが重要です。上級から

は語学学校などで勉強を続け、自分の苦手をつぶしていきます。自分にとって効果のある方法を見つけることが重要で、苦手を見つけては勉強方法をカスタマイズし、継続します。私が通っていた語学学校についても資料で紹介していますが、まずは大学でしっかり講義を受けることも重要です。フランス語を活かせる仕事は様々な種類があるので、アンテナをはり募集情報を自分で探す必要があります。例えばアフリカにはフランス語が公用語になっている国がいくつもあるので、JICA(国際協力機構)などの開発援助分野でも活躍できると思います。新卒で語学を活かすことが難しくても最初からあきらめる必要はありません。難しく見える仕事でも、挑戦することで失うものはないのですから、勇気を出して、応募してみてください。



4. 辞書編纂者、在日フランス大使館時代

新卒の語学力で語学を活かした職にすぐ就職するのは難しいので、出版社へ就職しました。辞書の編纂は非常に緻密な作業が必要とされる仕事で、7年間で4冊の編纂に携わりました。更にフランス語を実際に使う仕事をしたいと考え、通訳学校にも4年位通い、ビジネスレベルまでフランス語を持っていくことができました。一つ大きな辞書の編纂が終わるタイミングで、在日フランス大使館のウェブサイトで見つけて応募し、広報の担当として採用となりました。新聞社やメディア対応を行い、インタビューに立ち会うことが勉強になりました。在日フランス大使館時代は、現地スタッフという雇用形態でした。フランス人優位のバイカルチュラルな文化環境の中で様々な葛藤もありましたが、フランス語のビジネスマナーが身につけ、更に語学を磨くことができました。

5. フリーランス時代(編集の仕事)

求人情報を見て応募し、現在は「クーリエ・ジャポン」の編集担当(業務委託)をしています。クーリエ・ジャポンはウェブだけのメディアです。このメディアのコンセプトは、外国メディアの記事を日本語に翻訳・編集して、日本の読者向けに伝えるというもので、私は英語とフランス語のニュースの編集をしています。ウェブメディアの編集方法も学べたため、その技術を活かして「日本映画における女性パイオニア」という科学研究費のプロジェクト(日本の映画界で活躍した女性のデータベース作成)にも編集担当として参加しています。また、フェミニズム入門ブック「シモーヌ」(現代書館)編集委員も務め、企画提案や執筆を行っています。常に携わりたい仕事と収入のバランスを考えて、スケジュールを立てています。まだ、この働き方をしてから2年くらいなので、何が正解かはわかりません。最

近やっとやりたいことができるようになってきたと思っています。ですから、まだ自分の能力やチャンスの限界とは思わず、しばらくは挑戦したいと思っています。

6. フリーランス時代(文芸翻訳)

翻訳者になることに決まった道はなく人それぞれです。私の場合は文芸翻訳エージェントで仕事をこなした後、自分で翻訳したい本の企画を提案するようになりました。翻訳書の内以下の2冊はお茶の水女子大学の図書館(一般書架)にありますので、ご興味のある方は読んでみてください。

・リーヴ・ストロームクヴィスト

『禁断の果実 女性の身体と性のタブー』

花伝社、2018年



・ヴィルジニー・デパント

『キングコング・セオリー』

柏書房、2020年



7. フェミニズムについて

みなさんは今の日本は男性と女性が平等な社会だと感じていますか？2018年医学部入試差別問題や、元オリンピック大会組織委員会会長の森喜朗発言「女性がたくさん入っている理事会の会議は時間がかかる」(2021年)などの発言に見られるように、女性差別の例は現在でも多く存在します。女性がキャリアを積む過程でいろんな悩みが出てきますが、フェミニズムを知っていくことは解決のヒントになっていくので、在学中にフェミニズムについての授業を取って欲しいと思います。

8. 最後に

私の恩師の天野知香先生は、私が進路で迷っていたときに「何をやっても茨の道だから好きなことをやりなさい」とおっしゃいました。

私は今でもよく、この言葉について考えます。外野は色々言うけれど、自分が本当にやりたいことは何かを考えてください。どのように生きるかは、自分で決めるしかありません。色々な形の色々な大変さがあります。どうせ大変なら、「これだ！」と思う分野で苦勞したいと思っています。

9. 質疑応答

「フランス語のどこに魅力を感じましたか？」「フリーランスのプラス面、マイナス面を教えてください」「文芸翻訳家として実際に大変なことは何ですか」「出版社へどのように企画を持ち込むのですか」「活動の原動力は何ですか」「美術関係のお仕事はしていますか」「勉強以外で学生時代にやっておけば良かったことは何ですか」など多くの質問が寄せられました。

「お茶の水女子大学論」ロールモデル講演 2(2021.6.16)

「新聞記者」

三角 真理氏(毎日新聞社 記者)

1. 新聞社を希望した理由

まず皆さんに質問です。お家で新聞を取っている人はどのくらいいますか？(217名中、約160名手を挙げた。)沢山取ってくださっている方がいて嬉しいです。

私は昔から書くことが好きで、頻繁に雑誌に投稿していました。学生時代に、通学する電車の中で、サラリーマンがつまらなそうに新聞を読んでいる光景を見て、「新聞はなぜつまらないのか。面白いことが載っていても良いのではないか」と思い、多くの人を楽しませる記事を書きたいと思いました。就職を考えた時、好きなことに挑戦しないと悔いが残ると思いました。マスコミは倍率が高いし無

理だろうと考えつつも、準備として新聞を読み、過去問を勉強してチャレンジした結果、毎日新聞社に採用となりました。

2. 経歴

私は1988年3月に旧家政学部家庭経営学科を卒業し、1988年4月に毎日新聞へ入社し33年経ちました。転勤がある仕事のため、和歌山、岡山、大阪(社会部)、東京本社(外信部など)、大阪(運動部)、高松、大阪(社会部)、松山、大阪(点字毎日、社会部=現在)など様々な所に異動しました。知らない場所に住めることはとても新鮮で、この仕事に就いて良かったと思いました。

転職があると大変ですが、異動することで周りの人間関係が入れ替わるので、人間として鍛えられました。

3. 新聞記者の仕事

出勤風景や、会社についてスライドで紹介します。ノート、筆記用具(ボールペン)、コンパクトカメラ、ICレコーダー、腕章、手帳、カメラの充電器を持ち歩いています。梅田のビル14階に社会部のコーナーがあります。会社に到着すると最初に全ての新聞に目を通します。特に選挙は全記者がかかわる仕事なので、各社の報道状況を確認し比較します。

現在私は社会部で、教育及び大阪北部地域を担当しています。新聞社にはいろいろな仕事があります。編集局(運動、経済、学芸、整理、校閲など)以外にも、事業局(選抜高校野球、駅伝、展覧会)、広告局、販売局、技術局(管理)など多くの局があります。地域の担当で、豊中市、吹田市など大阪北部を担当しているので、例えば大阪教育大学附属池田小学校の事件から20年という記事を担当しました。

教育担当として書いた実際の新聞記事(スライド)をお見せします。何を取材するか自分で決めて、アポイントメントを取って書いていきます。取材に行く前に、相手の経歴、著書、掲載された記事を調べます。(この新聞記事では)子ども向け伊丹空港体験ツアーに同行し取材しました。取材内容は任されているので、自分の興味だけではなく、ある程度の人達が一緒に関心を持ってくれそうなテーマについて調べ、今まで知られていないことを見つけて書き進めます。

新聞を読んでもらうことは、活字好きな層を広くするという意味もあります。「超！入門 源氏物語」講座の記事を書くにあたっては、各訳者の一卷を図書館で借り、比較しながら読みました。同じページに掲載されている「わたしの世界」とい

うコーナーでは、「このような仕事があったのか」と思うような仕事に就いている人を取材しています。

有吉佐和子文庫についての記事では、有吉佐和子の魅力を紹介しました。掲載写真にも著作権があるため、掲載にあたって必ず確認が必要です。撮影する際はキャラクターなどが入らないようにします。

取材した後、掲載するまでの時間に多くのエネルギーを費やします。最後の責任は全て自分で取るため、正確な表記をするように気を付けています。毎日新聞社には図書室があり、各分野の辞書類があるので、よく使います。表記も時代によって変わるため注意が必要です。毎日新聞ではこう表記する、という辞書もあります。新聞の保存庫の様子をご紹介します(写真)。今はデータベース化されているので、利用する人も減っていますが、新聞社としての財産だと思っています。



写真:毎日新聞社 資料室(保存庫)の様子

大学生とつくる紙面として「キャンパル」という記事を担当しています。『エッセーの魅力』という記事では、あるエッセーから深く考えた例を書いてもらいました。『「無駄」って何だろう』という記事では、コロナで家に居続けることを考え続け、哲学的な考察を書いてくれました。

これから皆さんも社会人とやりとりすることがあると思いますが、私が大学生と接してとても感心することがあります。それは言葉が丁寧で、送ったメールにすぐ返信をくれる点です。一方、大学生の文章を読んで思うのは「私」という言葉を使わなくなった、ということです。「自分」という言葉を使うことが多いことを、振り返ってみてください。他にも例えば「私のお気に入り」など、私に「お」をつけるのはおかしいと思います。また、「ジユクコウ」という言葉を「熟考」のことだと思っ
ていましたが、「塾の講師」のことだと後で分かりました。違う世代の人たちと話す時は、流行り言葉や短縮形は除いてほしいと思います。また自己紹介を学生に送ってもらうと、「将来の目的」のような堅苦しい文章が送られてくることがあります。それで自分について本当に伝わるのか考えてみてください。正直な思いや、やる気が大切です。具体的な話ができて、語彙が豊かな人になることを目指してください。

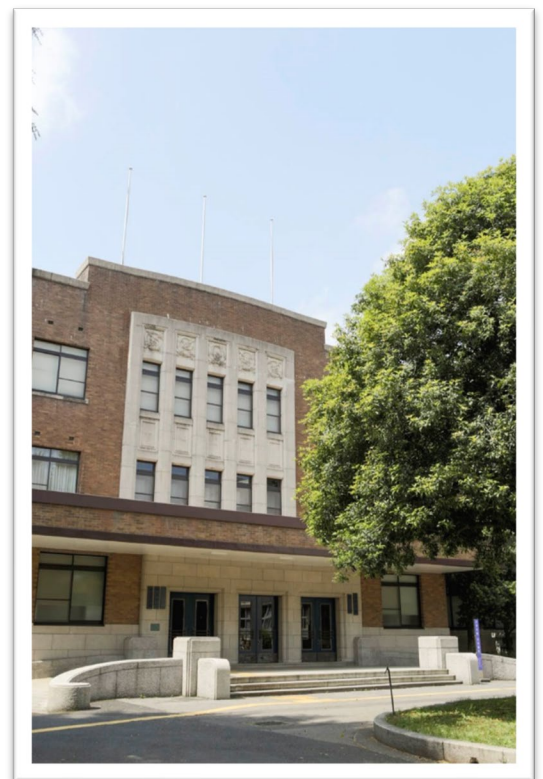
4. 最後に

これまであまり辞めたいと思うこともなく勤めてきました。私が続けているのは、好きな仕事に就いたからだと思います。休みの日は、新聞を読み、他紙を読みます。そしてビデオを見たり雑誌を読んだり、図書館に行ったりして過ごします。

皆さんに最後に質問します。選挙に絶対いく人は？(117名くらい手が挙がる。)ぜひこの国のことを考えて投票に行ってください。

5. 質疑応答

「これまでに特に印象深かったことは何ですか」「記事のように興味深いことを行っている方(取材対象者)はどのように見つけていくのですか」「作家ではなく、新聞記者を選んだ理由は何ですか」「編集局の人が別の局に異動する場合がありますか」「記事になるまでの時間はどのくらいですか」「紙の新聞があまり読まれなくなっていますが、魅力はどこにありますか」など多くの質問が寄せられました。



大学本館付近

「それでも続けた宇宙の仕事」

井本 綾子氏(三菱スペース・ソフトウェア株式会社 エンジニア)

冒頭で惑星探査機の動画をご覧いただきましたが、私は惑星探査機の運用設計や軌道解析をしているエンジニアです。大学卒業後から同じ会社で働いていて、妊娠や出産で休んだ時期もありますが、20年近く宇宙に関わる仕事をしています。毎日忙しく充実した日々を送っていますが、大変な時もありました。その時を乗り越えて今があると思っています。本日はプライベートも含めた紆余曲折についてお話しさせていただきます。

1. 宇宙の仕事

1.1 探査機の運用設計

私の担当している探査機は、ある惑星の衛星に着陸してサンプルを取得し、それを再び地球に持ち帰る計画です。まだこの惑星圏から地球に帰ってきた探査機はありません。成功すれば世界初となります。なんだかワクワクしませんか？ 未知なるものへの好奇心が大きなモチベーションとなっています。探査機を作るためにはたくさんの国、機関、企業が関わっています。

探査機を大きく分けるとバス系、ミッション系に分かれます。バス系ではシステムを担い、熱、通信、電力、姿勢等の制御を実施します。

次にミッション系ですが、宇宙空間におけるミッションを成功させるために必要な部分です。惑星やその衛星を観測するカメラや、着陸後にサンプルを収集する機器など全部で10個以上搭載されています。それぞれの機器を様々な機関やメーカーで担当しています。

たった一つの探査機を作り上げるのにとっても多くの人が関わっています。私の仕事は主にバス系の運

用設計です。私の担当している運用設計を基に各機器の設計担当者と実現に向けて調整していきます。

具体的にどのようなものか、簡易的な運用シナリオを作ってみましょう。地球出発から惑星到着まで1年ほどかかります。惑星周回への軌道投入タイミングを逃すと軌道が大きく外れ、ターゲットの衛星に着陸するのはもちろん観測することもできません。推力を発進させたい方向へ姿勢変更、通信アンテナを広範囲に切り替え、噴射させ、軌道位置の更新が必要となります。所要時間や軌道条件など担当者と細かく調整、検討を行います。やり直しがきかないので、ワーストシナリオを常に考えて運用設計を構築していかなくてははいけません。

宇宙の遠くまで行く探査機の設計は初めてなので、運用設計を進めるうちに、今まで設計してきた人工衛星と条件が違ふことが多く発生しました。探査機がどんな軌道条件になるのか、私は試行錯誤して軌道を作成し解析を行いました。それが各機器の設計担当者の評判を呼び、いつしか軌道解析も私の仕事となりました。解析した結果は探査機の設計条件となります。とても重要な解析で慎重な検討が必要です。解析に行き詰った場合は、社内の知人の技術や知識を借りながら進めています。問題解決できず困っている時は一人で考えこまず、相談しながら進めることも大切です。ミッション完了まで先が長く、長丁場のプロジェクトなので、楽しく続けていきたいと思っています。



1.2 人工衛星の運用

惑星探査機の仕事と並行して実施しているのが人工衛星の運用です。人工衛星がロケットから分離してから、人工衛星チームの出番です。お正月もなく24時間対応が必要です。管制室の管制官にもいろいろな役割があり、計画係、管制係、データ処理係などがあります。私は一通りの役割を担当し、計画係を多く担当してきました。その状況に合う対応を即座に考え実施する必要があり、大変な場面を何度も乗り越えてきました。入社時は管制室に女性が少なかったのですが、今は計画係に女性が増え、女性管制官も増えてきました。同僚のママ達と昼休みに話すこともでき、とても働きやすい環境です。

2. 学生時代～今

2.1 自由気ままな20代

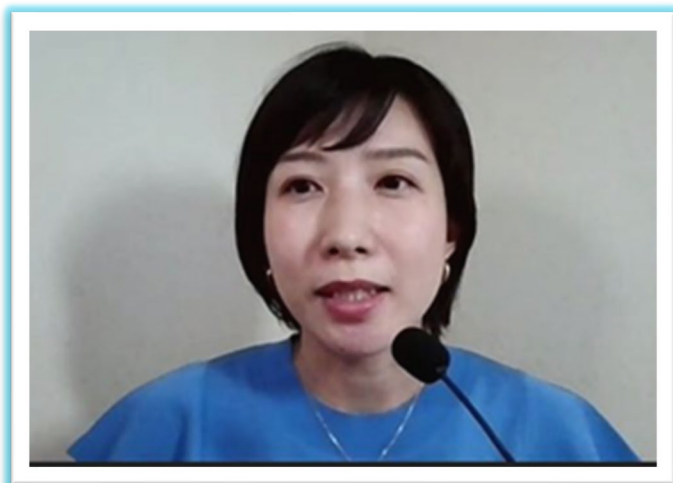
高校時代から宇宙に興味があってお茶大の物理学科に入りましたが、次第に好きだった物理の授業についていけなくなりました。スノーボードや、里山保存のボランティア、世界遺産を見るための旅行など、大学にいるより山にいる時間の方が多かったです。留年しそうになりましたが、猛勉強の末何とか単位を取ることができました。ひどいものですが、この時のように一度決めたら必ず実行する性格は仕事でも生きています。仕事では物理や数学の知識を多く使います。今大学の講義をまじめに受けることは、必ず将来役に立ちます。大学院に行くことも考えましたが、自分が気にしていた「育児」も考えに入れ、興味があった「宇宙」と「女性の働きやすさ」も考慮し、検索サイトなどをうまく活用し、自分のライフスタイルにも合致すると思って、現在の会社に就職しました。会社は防衛、通信など様々な部門がありましたが、希望通り宇宙の部署に配属されました。活動的な人が多く、マラソンや魚釣り、パラグライダーまで遊びの幅を広げて楽しみました。そして29歳で結婚しました。結婚しても長期出張もこなして仕事も脂がのり、プロジェクトリーダーも任されるようになりました。

2.2 体調不良に悩まされた 30 代

そんな時30代で妊娠していることが分かりました。ところが重度悪阻と診断され入院し、仕事はお休みしました。出産前のわずかな期間だけ仕事に復帰することができました。出産後にギックリ腰も経験する等、30代の大半は寝たきりだったので、支えてくれた家族、会社の仲間、上司には頭があがりません。今は下の娘が4歳になり、体調もだいぶ安定してきました。自分の経験をふまえて今ではプロジェクトを計画する際は、誰かが急に倒れても大丈夫なようなプランを作っています。少しずつ周りに恩返しをしていきたいと思います。

2.3 そして今 ある一日

起床は4時半と早く、フレックス制度を使い8時に仕事を開始。管制室の仕事はセキュリティが厳しくリモートは難しいので、管制室を行き来します。16時半には仕事を終わらせて帰宅。近所に住む母が保育園のお迎えをしてくれるので助かっています。子どもの面倒をみて、20時半に寝ています。起きている間は全力疾走ですが、睡眠を十分とっています。残業がある時は夫が代わってくれます。在宅勤務の場合も生活リズムを変えず、子どもとの時間を取りながら仕事もしっかりしています。



3. 最後に

体調不良が長びいた私がフルタイムで復帰できたのは、夫や母のおかげだと思っています。20代に好きなことを思い切り行ったので、30代も乗り切れたのかもしれませんが。皆さんも仕事でも遊びでも思い切り楽しんでほしいです。その時々様々な思いを感じて成長してほしいと思います。明けない夜はありません。

4. 質疑応答

「学生のうちにとった方がよい資格は」「チームリーダーに必要なことは？」「興味のあることはどうやって見つめましたか」「職場の女性は増えてきましたか」「宇宙に興味を持ったきっかけを伺いたいです」「苦しい時期を乗り越えるアドバイスをください」「家族と良い関係を保つ秘訣は何ですか」など多くの質問が寄せられました。

「お茶の水女子大学論」ロールモデル講演 5(2021.7.7)

「人生100年時代 どんな人生、送りますか？」

栗林 聡子氏(横浜市立中学校 家庭科教員)

1. はじめに

はじめに皆さんに質問です。これからの人生、何をしてもよくて、自分が望んだようになるとしたら、どのように生きていますか？ その人生で、大事にしたいものは何ですか？ 書いてみてください。実は今日、同じ質問を生徒にしてみたら、10個ぐらい書いていました。是非考えながら自己紹介を聞いてください。

2. 自己紹介、学生時代

私は旧姓「栗林」を使用しています。横浜市はほとんど全てのことに旧姓使用が認められています。夫婦別姓がいつか認められる日が来るまで使おうと思っています。

私は生活科学部生活環境学科人間科学講座の3期生として学びました。卒業論文は糖尿病ラットにおける受動喫煙の影響です。卒論で学んだことは、医学も薬学も動物実験を繰り返して安全性を確認した上で、私達の所に届いているということです。基礎実験は大事だと思いました。

教員になった動機は、高校3年生の夏に後輩が突然の病気で亡くなったことが関係しています。後輩を亡くした後の1か月くらいは記憶がありません。

その時に、命を救う人にはなれないけれども、予防医学の観点から健康が大事であること、人が生きること自体が素晴らしいということ呼びかけ続ける人にはなれると思いました。そのために家庭科の教員になりたいと考え、お茶大に生活科学部生活環境学科人間科学講座(進化、構造など様々な角度から人間を学ぶ講座)があることを知り、推薦入試で合格しました。

思い出に残っている授業として、人体構造学やジェンダー論、法学Ⅱなどがあります。ジェンダー論では原ひろ子先生から「自分のかけている眼鏡の色に気づきなさい。人には偏見(バイアス)があり、それを取り除くことはできないけれど、自分がどんな偏見をもっているのかを自分で知ることはできる」と言われました。利谷信義先生の民法の授業では「法律は振りかざすためにあるのではなく、皆が幸せになるために存在するものである。権力者によって法律が変化するので、私たち一般市民は法律の変化を監視する義務がある」と教わりました。そして富田守先生からは「家政学は全てを包括する学問。すべての学問は生活に関係する学問としての学びに変えられる」とお話しくださり、家政学という視点で世の中を見ることを忘れないようにしようと思いました。

3. 同級生の進路、フリーター時代

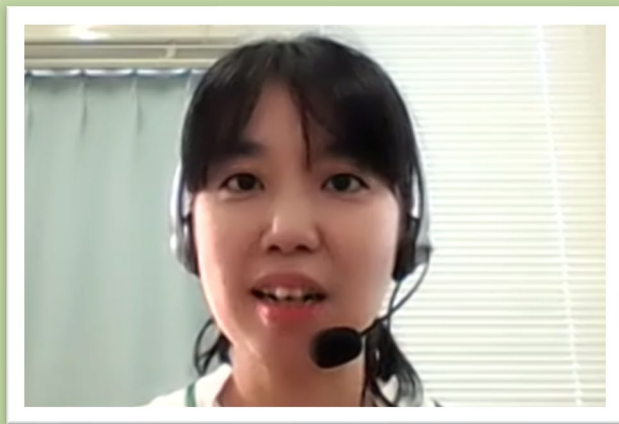
講座の同級生はとても仲が良くいろいろな所遊びに行きました。進路は様々で、公務員、出版、SE、主婦、地域の見守り拠点も兼ねた喫茶店の店主や、就職した後に医学部に入り直して医師になった友人、足つぼ師になった友人もいます。

私は学部を卒業して教員採用試験に合格するまでフリーターを経験しました。国立、私立高校の家庭科非常勤講師、経済産業省でのアルバイト、NHKのAD、塾の摸試採点のバイトなどをしながら横浜市教員採用試験にチャレンジし、3度目に15倍の倍率をくぐり抜けて合格することができました。

4. 教員の仕事

教員の仕事の一日のスケジュールをご紹介します。朝練から始まり、授業をこなします。昼食中もみんなきちんと食べているか、健康観察をします。三者面談などもあり、テスト採点をして返却、教材研究など時間がいくらあっても足りません。授業、学年の仕事、生徒の健康観察、部活動、担任業務、学校行事、校務分掌、学校の親睦会の担当などがあります。他に保健美化委員会や教科書を注文する係も担当しています。

他に皆さんが知らない教員の仕事として、教室の電球の交換、エアコンのフィルター清掃、毎日の消毒や、床タイルの修復なども行い、基本何でもするのが教員です。



5. 生徒の様子、失敗について

最近の生徒は穏やかで優しい子どもが増えた反面、繊細で傷つきやすい子どもが増えていると感じます。自分と外界を遮る外殻が薄い感じで、他人から言われたりされたりした嫌なことがそのまま突き刺さってしまうのです。その背景として、小さい時の失敗体験の少なさが原因なのではないかと思います。失敗したくない、丸く収めたいと思う子が増えています。学校は間違えても失敗してもよい場所で、失敗したりトラブルになったりした時に自分の経験の中から考えて、振り返って試行錯誤することが大事です。自分たちで解決せずに大人が仲介することが増えているので、教員としては自分たちで成長してほしいと願い、声かけをするようにしています。

「心に傘を。ザルにはボウルを」という言葉を皆さんにお伝えしたいと思います。「心に傘を」の意味は「他者から言われたことに関して、気持ちの中で傘を広げて避ける」ということです。何色の傘が良いか考えてみてください。心の中で傘を開いて自分を守る術を持ってほしいと思います。「ザルにはボウルを」の意味は、人から褒められた時や自分が頑張った時の気持ちをザルの様に流さずに、ボウルのようにしっかり受け止めるための入れ物を心に用意してほしい、ということです。

7. 質疑応答

「保護者からのクレームにはどのように対応されていますか」「小さいときの失敗経験が少ないのはどうしてだと思いますか」「先生になるにあたって、大学のことを生徒と話す時に話題にしたり、役に立ったことがありますか」「先生が高校の時に伝えたいと考えられていた予防医学の大切さや命の大切さは伝えることができますか」「時間外労働は苦ではないですか」「ご家族との時間はどう取られていますか」「リフレッシュ方法は？」「他者と衝突したときはどう考えますか」など学生からは公私にわたって多くの質疑が寄せられ、活発な質疑応答が行われました。

「人生を自分でデザインする」

山崎 祐子氏(観光庁観光地域振興課 地域競争力強化推進官)

1. 自己紹介

皆様、こんにちは。私は埼玉県の県立浦和第一女子高校からお茶の水女子大に入学しました。大学時代は中国文学を専攻し、卒業後は3カ所で仕事をして現在に至ります。最初はJALパックという旅行会社、次に地方自治体である東京都品川区、そして現在は国土交通省観光庁で国家公務員として働いています。本日は次の3点をお話したいと考えています。1点目はこれまでの経歴や携わってきた仕事、2点目は民間企業と公務員の違い、そして地方公務員と国家公務員の違い、3点目は自分のライフステージにあわせてキャリア選択をすることによって自分の人生をデザインする、ということです。

2. 大学時代の転機――

中国への短期留学、長期留学

大学1年のときは、アルバイト、サークルに明け暮れる毎日でした。大学2年の夏休みに北京語言大学に4週間短期留学し、振り返ってみるとそれが大きな転機になったと考えています。中国語の上達はもちろん、文化や歴史の違いを感じたり、中国人の温かさやパワーに触れたり大変貴重な経験でした。短期留学から戻った後、知識をもっと深めたいと考えて日中学生会議(日中関係に関心のある日本人学生有志が1986年に設立した団体)への参加を決め、勉強会や討論を通して多くの学びを得ることができました。大学3年で卒業後の進路検討をはじめたとき、中国に関する仕事をしたいという気持ちは明確でしたが、自分の中国語の能力はビジネスレベルには達していないと考えて、中国への長期留学を検討したところ、日本中国友好協会の奨学金制度を見つけました。大学3年の秋に試験に合格し、中国政府奨学生として1年間留学する道が拓けました。

一方、留学後の就職を見据えて就職説明会にも参加し、企業の人事担当と話をしていました。そのなかで、JALパックから、7月入社を認め入社後の研修も個別に実施するという申し出をいただき、留学後に入社することを決めた上で、大学4年の9月から上海に留学しました。一旦、社会人になった後に留学することは難しいので、学生時代に留学をして良かったと思っています。語学力はもちろん、視野が広がり、他の国の人と交流や議論をするなかで論理的に考え、説明する力も養われました。

3. JALパックへの就職 パンダツアー実現への交渉

留学を終えた1999年に、海外旅行を取り扱う旅行会社JALパックに初の女性総合職として入社しました。そして2001年から2005年までの4年半、中国の北京に単身で駐在しました。北京では日本からの旅行者の満足度を高めるために、様々な取り組みをしました。中国全土の約400名のガイドへの接遇研修、旅行行程に組み込んでいるホテル・レストランの品質管理、新規観光地の開拓などを手がけました。このパンダ(授業時のスライド)は、中国四川省の臥龍中国パンダ保護研究センターで撮った写真です。それまでは個人旅行者しかパンダを抱っこするという体験はできなかったのですが、何度も足を運んで日本人ツアーの受入交渉を成功させ販売を開始しました。このようにJALパックでは、海外駐在や企画という仕事に携わり、充実した毎日を過ごしました。一方で残業や休日出勤も多く、今後の結婚生活、子育てを含めたワーク・ライフ・バランスが実現できる職場への転職を考えていた時に、東京都特別区の経験者採用試験の案内を目にしました。

4. 地方公務員 ワーク・ライフ・バランスの取れた生活から2度目の転職へ

東京都特別区の試験は、23区の中で希望する区を選ぶことができ、羽田空港にも近く、新幹線のアクセスもよい品川区を希望し採用されました。福祉関係の部署で予算策定や新規事業の企画を担当しました。2012年には出産し、産休、育休を経て復帰しました。公務員は子育て支援の制度が充実しており、また、在籍部署はそれほど多忙ではなかったので時短勤務などの制度を活用し、子育てと両立をすることができました。けれども、子どもが3歳になり、少し落ち着いたときに、やはり観光や中国と関係がある業務に携わりたいという気持ちが大きくなり、2度目の転職を決めました。国家公務員の経験者採用試験は、択一、論文、面接の準備が必要で、子どもと一緒に8時に寝て朝4時に起きて勉強をするという日々でした。その結果、合格し、国土交通省観光庁へ入庁しました。観光庁は日本の観光立国の実現に向けて、魅力ある観光地の形成や国際観光の振興等を進めています。2回の転職を経て、自分がやりたかった業務に携わることができていると思います。

5. 国家公務員 観光庁での現在

観光庁で担当した業務を2つ紹介します。国際観光課のアジア市場推進室では訪日旅行者拡大のためのプロモーションを担当しました。上の写真(授業内資料)は中国の広州で開催された旅行博に日本ブースを出展して、日本の魅力を発信したときの様子です。広告代理店や旅行会社と連携して日本各地の良さを中国人に紹介し、旅行先として日本を選んでもらえるようにPRしました。2つ目は外客受入室で訪日外国人旅行者のための受入環境整備を担当しました。コロナ禍前は、外国人旅行者が年々増加していましたが、Wi-Fiや駅の外国語表記やムスリム対応など受入環境が整備されていない地方がまだ多くあります。受入環境を整備し、外国人旅行者の満足度を高めることは大きい課題であると考えています。

6. 民間企業、地方公務員、国家公務員の違い

これまでの体験を踏まえて、私が感じた民間企業、地方公務員、国家公務員の違いをまとめてみましたので表(授業内資料)をご覧ください。あくまで個人的な見解である点をご容赦ください。まず目標ですが、民間企業ではしっかり目標が定められている場合が多いと思います。目標に追われることもありますが、達成のために個人のやる気が上がったたり部署の一体感が生まれるというメリットもあります。一方、公務員はそれほど明確な目標を個人に課せられることはありません。観光庁では「2030年訪日外国人旅行者6000万人」という政府目標に向けて全庁で取り組んでいますが、部署や個人の数値目標はありません。次に仕事内容ですが、民間企業は商品企画、営業、システム、人事などいろいろな仕事があります。公務員よりも比較的クリエイティブな仕事が多いように思います。一方、地方公務員の仕事は国が決めた政策を地域の実情に合わせて実施することで、確実な調整が求められます。地方公務員は住民とのやりとりが多く、住民の声をダイレクトに聞くことができます。感謝されることも多く、住民の笑顔を見てこの仕事を選んでよかったと思うことが何回もありました。



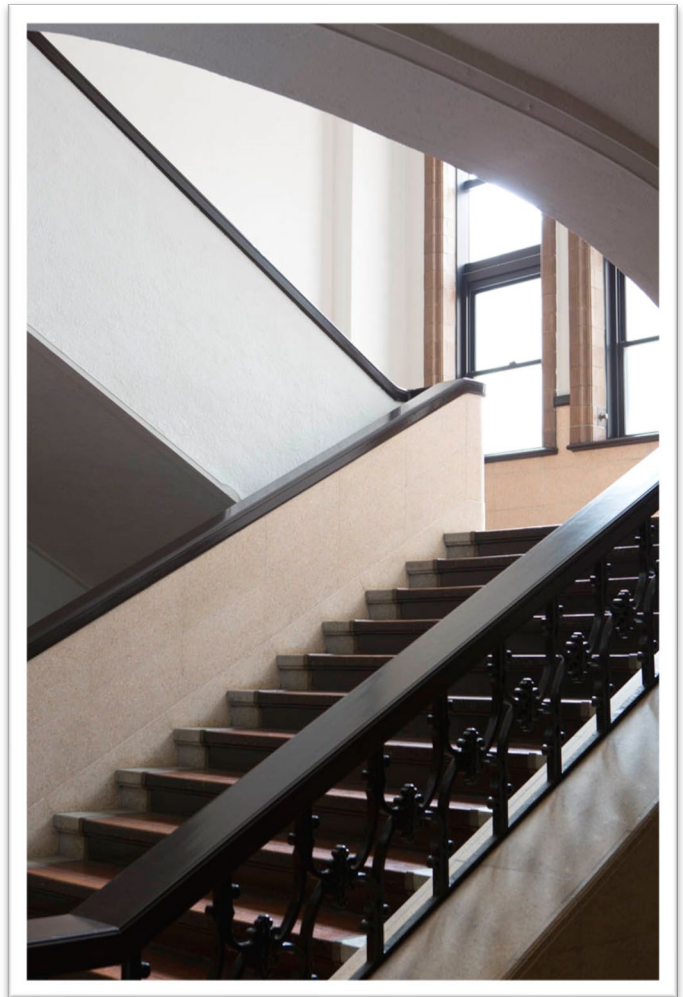
国家公務員の仕事の内容は政策立案です。日本がよりよくなるための政策を立案し、実行に移します。国会や議員対応もあります。国民から注目されるダイナミックな仕事も多く、自分の仕事が経済を動かしていると感じることもあります。政策をスピーディに決めて実行に移す必要があるので仕事にはスピードが求められます。最後に働き方です。民間企業は担当部署によって土日勤務や残業が多い場合もあります。地方公務員はワーク・ライフ・バランスが取りやすいように思いました。国家公務員は基本は土日は休みですが、平日は深夜まで残業となる場合もあります。公務員は産休、育休制度は充実しているので、女性が働き続けることも可能です。

7. 最後に

自分にとって一番よいキャリアを選ぶために、皆さんに次の3つのアドバイスをしたいと思います。1点目は自分がやりたいことを見つけるために、大学時代に様々な経験をして視野を広げるといことです。大学時代の経験が自分の生き方や価値観に影響を与えて、夢に導いてくれたと思っています。2点目は海外勤務を希望するなら、それを視野に入れた就職活動をするとう良いと思います。3点目は、考え方ややりたいことは変わっていきます。その都度、変化を受け入れてキャリアを変える勇氣を持つことも大切です。人生は自分でデザインするものだと思っています。この3点目は私も常に意識していることです。今、世界は転換期で今まで当たり前だったことが当たり前ではなくなっています。固定観念にとらわれるとうまくいきません。自分の心の声に耳を澄ませること、将来の展望を持つことが大事です。将来の展望から逆算して考えることで、今やるべきことが見えてくるのではないかと思います。

8. 質疑応答

学生からは多くの質問が挙げられました。「大学時代に留学やサークル活動以外に何をしていたか」「英語だけでなく中国語も上達したいと思っています。勉強のコツは」「中国に興味を持った理由は」「中国の最大の魅力は」「奨学金の情報はどこで知りましたか」「コロナの影響で仕事の内容や形態に変化はありませんか」「その時々でキャリアを変える勇氣を持つ、と仰っていましたがその勇氣を持てた理由は何だと思ひますか」「人を惹きつけるアイデアはどのような時にわきますか」など多岐に及びました。



大学本館

受講生の声（一部抜粋）

今後のキャリアや進路の展望を検討するために有効な観点を得ることができました。

ワークライフバランスに関する新たな気づきを獲得しました。

就職などのことだけでなく、女性としての生き方について深く知ることができました。

大学に通う目的や目標、そして将来のことについて改めてよく考えようという気持ちになりました。

ライフステージが変わった時に役立つように、大学生の頃から視野を広く持とうと思いました。

講義の内容を頭に置きながら、様々な働き方を学び、将来につながるようにしていきたいです。



令和3年度 お茶の水女子大学論
ロールモデル講演集

発行日 令和4年2月18日

発行 国立大学法人お茶の水女子大学
グローバルリーダーシップ研究所
〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1
E-MAIL: info-leader@cc.ocha.ac.jp
TEL: 03-5978-5520
<http://www.cf.ocha.ac.jp/igl/>

編集責任 グローバルリーダーシップ研究所 特任講師 宝月理恵

編集協力 グローバルリーダーシップ研究所 アソシエイトフェロー 林有維

「グローバル女性リーダー育成のための国際的教育研究拠点形成」